



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略最前線

戦略から実動へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



▶広報すその
オンラインは
こちら



☎幼稚園・保育園課 995-1822

認定こども園化の推進

こども園化の目的

市では、幼稚園と保育園を統合し「認定こども園」へ移行することで、子どもたちにより良い育ちの場を提供することを目指しています。この取り組みの背景には、子どもの成長にとって大切な次のような要素があります。

一つ目は、友達との関わりや遊びを通して主体性や社会性を育むことです。子どもは、人との関わりの中で自分で考え、行動する力を身につけていきます。

二つ目は、異なる集団との交流や意見交換を通じて多様な経験を得ることです。さまざまな考えに触れることは視野を広げ、柔軟な心の育ちにつながります。さらに、一定規模の集団で生活することで豊かな人間関係が生まれ、協調性や思いやりが育まれます。

こうした環境を充実させるため、市では認定こども園への移行を進めています。子どもが自分らしさを大切にしながら成長できる場を、地域とともにつくっていきます。

交流と記念事業

こども園への移行に向けて統合後も、子どもたちが笑顔で過ごせるよう、富岡第一幼稚園と富岡保育園、深良幼稚

園と深良保育園では、統合記念事業として交流事業を積極的に行っています。また、地域や保護者の声を取り入れるため、「裾野市幼児施設整備基本構想推進委員会」を設置し、子どもたちにとって最良の環境づくりを進めています。

統合に向けた取り組み

子どもたちにとって安心できる環境づくりを目指し、令和5年6月から令和7年3月までに認定こども園検討会を開催しました。令和6年10月からは、富岡・深良地区の幼稚園・保育園代表者による統合調整会を毎月実施しています。令和8年4月、「とみおかこども園」「ふからこども園」が開園する予定です。



深良幼稚園・保育園の交流事業

すくすく
成長中!

裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

■誕生月の2カ月前までに右記の2次元コードを読み取り、オンラインフォームから申し込んでください。



小澤 伸空さん
2歳10カ月
青葉台



森本 律さん
2歳9カ月
新道



渡邊 千歳さん
2歳10カ月
御宿台



古川 笑風さん
2歳11カ月
富士見台



花井 澤嵐さん
2歳11カ月
石脇



1月図書館だより

開館時間／火・水・土・日曜日 9時～17時／木・金曜日 9時～19時
休館日／1日(木)～3日(土)・5日(月)・13日(火)・19日(月)・22日(木)・26日(月)



☎鈴木図書館 992-2342 ☎文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

「選べない!」はなぜ起こるのか

著者：小島 雄一郎
出版社：サンマーク出版

まわりには様々なものがあふれていて、「選択疲れ」がひろがっています。いま、求められているのは迷わずにすつと決められる安心感です。本書は生活者の「選ぶ瞬間」を分析した著者がこれまでの知見をまとめています。



児童書

せいろサウナ ぽかぽかや

作：たにむら のりあき
出版社：福音館書店

ゆげがもくもくでてきたら、さあ開店!お客さんは、肉まんさん。おなかのなかまであたたまるぞー!と座っていると、次々に「点心友だち」がやってきて…。「ぽかぽかや」で、食べ物たちがおいしく“ととのう”お話しを、お楽しみください。



行事予定

鈴木図書館

年末年始の料理展
時～10日(土)

裾野高校PRESENTS
「シールラリー×宝探し」
時10日(土) 10時～17時
11日(日) 9時～16時
申不要



ベビー&キッズタイム

時14日(水) 9時～12時
「松岡享子 お話の種まきをした人」
上映会と関連展示
時31日(土) 10時～11時、14時～15時
※展示は23日(金)～2月7日(土)
所東西公民館(鈴木図書館3階)
申不要
第57回書初め展
時29日(木)～2月8日(月)

文化センター図書室

おはなしの会
時17日(土) 11時～11時30分
所文化センター21・22会議室
親子おはなしの会
時20日(火) 10時30分～10時50分
ぬいぐるみおとまり会
時●お預かり▶17日(土) 11時
●お迎え▶18日 午後から※要申込



すそのびと
Susonobito No.78

全国鼻笛チャンピオンシップ2025で優勝

外山 明俊さん
長泉町
高田 卓二さん
公文名3
永井 育海さん
御宿新田
※写真左から



バンド「イクタクと山」が、10月に三重県で開催された鼻笛の全国大会「全国鼻笛チャンピオンシップ2025」のユニット部門でグランプリとパフォーマンス賞のダブル受賞を果たしました。9回目の開催となる本大会でのダブル受賞は、今回が初めてです。

大会では、ノーズフルート(鼻笛)を主旋律に、ギター、パーカッション、ベースを組み合わせた「情熱

大陸」を披露し、会場を大いに沸かせました。

令和2年8月、36年ぶりに再会した高校同級生の永井さんと高田さんが意気投合しユニットを結成。翌年には後輩の外山さんが加わり、現在は年間15回ほどイベントに出演しています。

鼻笛は、鼻から息を吹き込み、口の中の大きさを変えることで音程を調整する楽器です。手を使わずに演奏でき、コツさえつかめば誰でも楽しめるため、年齢や経験を問わず取り組める点で大きな可能性を秘めています。また、高田さんが使う鼻笛は自作によるもので、永井さんのパーカッションセットも手づくりの作品です。

3人は「これからも独創的なスタイルで、多くの人に感動を届けたい」と意気込みを語っています。

